

事業 番号	事業名	内容	対象外 項目番号
	<下水道事業特別会計>		
1	公共下水道運営事務事業	公共下水道事業運営	②
2	下水道運営審議会事業	下水道運営審議会の開催	②
	受益者負担金等賦課徴収事業		
3	受益者負担金賦課徴収事業	受益者負担金の賦課徴収	①
4	公共下水道使用料徴収事業	公共下水道使用料の県企業庁への一括徴収委託賦課徴収	①
	公共下水道維持管理事業		
5	維持管理事業	公共下水道施設維持管理	-
6	負担金補助金事業	負担金等	①
7	公共下水道整備事業	公共下水道整備	③
8	相模川流域下水道等建設負担金事業	相模川流域下水道建設負担金	③
9	下水道施設災害復旧事業	科目の設定	②
10	下水道債に対する元金	下水道債に対する元金	①
11	下水道債に対する利子	下水道債に対する利子	①
12	一般会計繰出事業	科目の設定	①
	<一般会計>		
13	河川総務運営事務事業	河川維持管理	-
14	河川災害復旧事業	科目の設定	①

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月23日
事業名	公共下水道維持管理事業（維持管理事業）	担当課・係名	下水道課・下水道整備係
総合計画実施計画事業 （認定番号・事業名）	—	事業番号	5
行革大綱実施計画事業 （細目コード・事業名）	—	事業開始年度	平成2年度

2. 事業の概要					
目的 (何のために)	既存の下水道施設を適切に維持管理し、生活環境の保全を図ると共に、町内を流れる河川や公共用水域の水質保全を図る。				
対象 (誰を・何を)	既設下水道管等施設				
内容	既設下水道管及びマンホール等施設の維持管理や修繕を行い、町内14ヶ所に設置してあるマンホールポンプの維持管理を行うとともに、流域下水道との接続付近に設置した流量計の維持管理を行う。また、下水道法第23条に基づく、下水道台帳整備を行う。				
根拠法令・条例等	下水道法				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	10,669	25,431	25,722
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	10,669	25,431	25,722
	一般財源	千円			
	職員人数 (概算職員数)	人		0.63	0.56
	人件費計 (b)	千円		3,861	3,432
総事業費 (a)+(b)	千円	10,669	29,292	29,154	
事業費内訳 H 26 年度	普通旅費：4千円、消耗品費：60千円、燃料費：7千円、光熱水費：1,400千円、修繕料：1,172千円、通信運搬費：544千円、手数料：70千円、火災保険料：3千円、総合賠償補償保険料：47千円、管理委託料：3,861千円、調査委託料：13,000千円、下水道台帳整備委託料：5,000千円、電子計算機プログラム使用料：284千円、用地借上料：220千円、機械借上料：50千円				

3. 指標値の推移						
各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)			単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	①	汚水管渠延長	m	83,950	89,448	94,726
	②					
活動指標 (活動量)	①	修繕件数	件	3	8	7
	②					
成果指標 (達成度等)	①	修繕件数	件	3	8	7
	②					

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	直営や外部委託により適正な維持管理を行った。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	直営や外部委託により適正な維持管理を行った。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	下水道施設の維持管理及び突発的な修繕に対応している。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	直営でなく外部委託により対応することも検討の余地がある。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他
	理由	直営でなく外部委託により対応することも検討の余地がある。
担当課による評価		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
		評価理由 外部委託等の検討が必要。

5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	下水道施設の長寿命化計画策定に取り組む必要がある（平成30年度以降）。
② 平成27年度に着手する事項	下水道施設の長寿命化計画策定に向けた研究・資料収集等
③ その他（課題、調整事項等）	大量の雨天時浸入水により、流域下水道処理場の運転（処理）に支障を及ぼしている状況があり、不明水対策を強化していく必要がある。

6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

汚水管の適切な維持管理を行うため、硫化水素による腐食の発生しやすい箇所である、マンホールポンプの維持管理委託や伏越し管（大磯38-1汚水幹線）の浚渫を引き続き行うと共に、石神台地区の汚水管について経年劣化による損傷箇所の修繕工事を平成27年度から3ヶ年で実施していく。
--

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月24日
事業名	河川総務運営事務事業	担当課・係名	下水道課・下水道整備係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	13
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成13年度

2. 事業の概要																																																				
目的 (何のために)	町内河川（町管理の準用河川及び普通河川）の良好な維持管理を行う。																																																			
対象 (誰を・何を)	町管理の準用河川及び普通河川																																																			
内容	<ul style="list-style-type: none"> 河川河床維持管理業務委託（浚渫・除草）を行う。 三沢川 委託延長 L=2,068m 谷戸川 委託延長 L=846m 三沢川、嶋立川、血洗川、谷戸川及び長谷川の維持修繕を行う。 																																																			
根拠法令・条例等	河川法（準用河川）																																																			
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>平成24年度 (決算)</th> <th>平成25年度 (決算見込)</th> <th>平成26年度 (予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">事業費</td> <td>直接事業費 (a)</td> <td>千円</td> <td>9,685</td> <td>12,753</td> <td>10,020</td> </tr> <tr> <td> 国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 起債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 一般財源</td> <td>千円</td> <td>9,685</td> <td>9,820</td> <td>10,020</td> </tr> <tr> <td>職員人数 (概算職員数)</td> <td>人</td> <td></td> <td>0.16</td> <td>0.16</td> </tr> <tr> <td>人件費計 (b)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>980</td> <td>980</td> </tr> <tr> <td>総事業費 (a)+(b)</td> <td>千円</td> <td>9,685</td> <td>13,733</td> <td>11,000</td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	事業費	直接事業費 (a)	千円	9,685	12,753	10,020	国庫支出金	千円				県支出金	千円				起債	千円				その他	千円				一般財源	千円	9,685	9,820	10,020	職員人数 (概算職員数)	人		0.16	0.16	人件費計 (b)	千円		980	980	総事業費 (a)+(b)	千円	9,685	13,733	11,000
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)																																																
事業費	直接事業費 (a)	千円	9,685	12,753	10,020																																															
	国庫支出金	千円																																																		
	県支出金	千円																																																		
	起債	千円																																																		
	その他	千円																																																		
	一般財源	千円	9,685	9,820	10,020																																															
	職員人数 (概算職員数)	人		0.16	0.16																																															
人件費計 (b)	千円		980	980																																																
総事業費 (a)+(b)	千円	9,685	13,733	11,000																																																
事業費内訳	修繕料：2,000千円、管理委託料：8,000千円、修繕用材料費：20千円																																																			
H 26 年度																																																				

3. 指標値の推移					
各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 委託管理箇所数	件	2	3	3
	②				
活動指標 (活動量)	① 維持管理委託数	件	2	3	3
	②				
成果指標 (達成度等)	① 委託の完成率	%	100	100	100
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	現在のシステムは有効で効果的である。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	重機及び高圧洗浄車等の使用が必要であり、専門業者対応が必要である。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	限られた予算内で工夫して執行し、目標とした成果は達成しているが、住民要望に十分応えられていない。
効率性	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	可能な範囲までの住民要望には、応えている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	積算基準書等を根拠とし、入札により適正な執行を行っている。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 住民要望に応えられるよう、今後も適切な維持管理を行っていく。

5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	三沢川等河川の浚渫箇所を工夫（隔年等）して、委託発注している。
② 平成27年度に着手する事項	今後も三沢川等河川の浚渫箇所を工夫して、委託発注する。
③ その他（課題、調整事項等）	河川構造物の劣化・老朽化が進んでいるため、修繕料の増大が見込まれる。

6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

平成27年度も引き続き、三沢川等河川の浚渫箇所を工夫（隔年等）して委託発注すると共に、河川構造物の劣化・老朽化が進んでいる箇所は、優先度を考慮した上で、その状況に応じ適切な修繕を行っていく。
